

11期 青柳 健二

・実施日 2020年2月14日(金)～16日(日)

・参加者 (4期)佐藤 (8期)野村 (11期)青柳・
片田 (15期)上馬 (18期)堤
(22期)黒崎 (26期)畠山 8名

今年のスキー合宿は、直前に井上さん・宮島さんが不参加となり8名での合宿となりました。そして女性陣がゼロで、やや寂しい合宿にはなりましたが、若手の黒崎さん・堤さん・畠山さんが参加され、それなりに楽しいスキー合宿となりました。

今シーズンは記録的な暖冬で、このスキー合宿期間中も暖かい日が続きました。それでも、少し前の降雪で柄沢ゲレンデも滑走可能となり、スカイラインコースも全面滑降可能となりました。野沢特有のパウダースノーの新雪やダケカンバやブナの樹が真っ白く輝く樹氷には合えませんが、降雪や強風に悩まされることもなく、三日間滑れたのはラッキーであったと言えます。最後の日は、小雨が舞う時はありましたが、ゴーグルに水滴がつく程度で滑るのには影響はありませんでした。三日券を買って失敗したか？との思いも杞憂に終わり、満足感を味わいスキーを終えることが出来ました。

私自身にとっては、1月末に井上さんで行った志賀高原でのスキーの後に古傷である左足首の捻挫が再発し、スキー合宿までには腫れと痛みは治まったものの、足首をテーピングかサポーターで固めてのスキーでした。まあ、これは日頃の運動不足が根にあり、足腰の筋力の衰えをカバーする若さが無になっている歳なのだと思います。知らされたスキーでした。

シーズン前にヘルメットを購入し、このスキー合宿では怪我だけは絶対にせずに帰ろう・・・との覚悟で臨んだスキー合宿でもありました。それが果たせたことでホットしている自分がいます。

そんなことで、滑っている時間よりも休憩時間が長い日もありましたが、それに付き合ってくれた野村さんには感謝・感謝です。おかげで2ヶ所の喫茶室（長坂ゴンドラ山頂駅の喫茶室・やまびこフォーリフト先の喫茶ダンテ）のソフトクリームが旨いと知ったことは収穫でした。

高温のため雪質が悪く、安全に滑ろうとしてスピードに今一つ乗れないスキーに終始してしまいましたが、三日間滑り終えたことで、まだまだスキーを続けられるとの確信が得られましたので、もう一度体を鍛えなおして来シーズンを迎えたいと思っています。



(2.14 夕食 料理が旨い)

そして、今回は若手？スキーヤー3名とジックリ滑り、また語り合えたのは良い経験でした。

黒崎さんは、実質半日だけのスキーでしたが、安定感のある滑りを披露してくれました。リフトに乗っている時にお店の電話予約が入る程の繁昌振りでは、土日は滑れないのは仕方ないのでしょうか、いつかもっとユックリと共に滑りたいものです。

堤さんも、久方振りのスキーと言いながら直ぐに調子をつかんで、スピードコントロールが見事なスキーをされていました。この3月に定年を迎えるとのことですから、来年からは2泊して滑ることが出来ましょう。

山スキーの達人である畠山さん、雪国に住んでいるために、一泊してのゲレンデスキーは初めてだ・・・との事でしたが、夜の宴も含めて楽しんでもらえたようです。

幅広のスキーで高い姿勢のままクルクルと回る滑り方は、急斜面や深雪に対応した独自のスタイルですが、疲れを知らないスキーだと感心しました。夜の宴で、ホームゲレンデの海谷山塊を写真で解説してもらいましたが、良くこんなところを滑るなーと吃驚しました。雪崩や雪庇などに充分注意して滑って欲しいと思います。

上越銘酒“久保田”ご馳走さまでした。



(2.15 12:30 毛無山山頂)

野沢スキーの常連である、佐藤さん・野村さん・片田さん・上馬さん、今回もご苦労様でした。

佐藤さんには、朝日連峰登山や水墨画を写真でご披露いただきました。多芸振りに感嘆します。衰えぬ好奇心と実行力には頭が下がります。スキーもまだまだ続けられましょう。

野村さん、お互い体の故障箇所と上手く付き合う様を工夫して、スキーを続けていきましょう。

上馬さん、いつの間にかスピード豊かに力強く滑り降りるスキーを身に着けておられ驚きました。山を歩き回っておられる基礎体力のなせる業でしょうか。また、油絵画家の奥様をサポートされておられるとは初耳でしたが、お二方のご活躍を応援しております。

片田さんには、変わらぬスピード感覚を見せてもらいました。未だ世に役立つ仕事を続けているとのことですが、久しぶりのスキーで気分転換が出来たことでしょう。次回は半日だけでなく、ユックリ滑りましょう。

今回のトピックを2点、記録しておきましょう。

まず、長坂ゴンドラが今秋までに更新されます。

新長坂ゴンドラは中間駅がなくなりやまびこ駅に直結します。またやまびこレストハウスも同時に大きくリニューアルされるようです。どのように変わるか楽しみです。



(2.15 夕食後)

そして、定宿の“ふるさと”の混雑振りは大変でした。法務局の局旅行と重なったのです。40人の団体と同宿でした。今までは、我々のスキー合宿の一周間前に行っていたのですが、今年から重なってしまったとの事でした。我が方の参加者が少なかったのは、宿にとってはある面幸いでもあったようなのです。

そこで、宿と相談し来シーズンのスキー合宿の日程を前倒しすることにしました。

この変更が吉となるのかは天の神様のご采配によりましょう。地球温暖化により、今年のような雪不足になると、チョット心配ではあります。

まあ、野村大先生のおっしゃる様に少雪と多雪の年を繰り返しながら温暖化は進むと思われます。

◎2021年のスキー合宿は、
2月5日(金)～7日(日)

スキーから帰ると、新型コロナウイルスの蔓延が甚だしいことになっていました。その感染力の凄まじさには驚きです。各人が充分に気をつけながら、コロナに負けない体力を確保すべく努める必要があります。

また来シーズン、野沢温泉で元気に滑り、かつ楽しく歓談出来ることを楽しみにしています。